

第 53 期

中間報告書

2023年3月1日 ▶ 2023年8月31日



AEON

 株式会社ジーフット

証券コード：2686

■ 経営理念

足元からのスタイル提案業

健康的で履きやすい魅力的な靴をリーズナブルに提供すること。

私たちジーフットは、その経営理念に「足元からのスタイル提案業」というスローガンを掲げながら、フットウェアのリーディングカンパニーとしてこれからの時代を先取りするグローバルな展開をスタッフ全員で目指していきます。

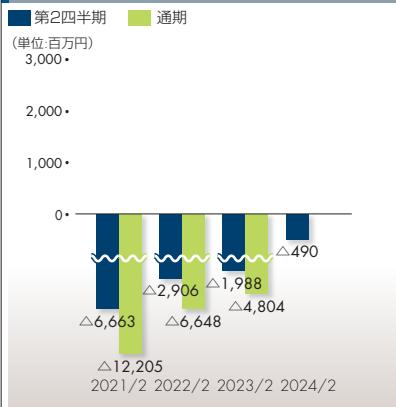
■ 財務ハイライト

	2021/2 (第2四半期)	2021/2 (期末)	2022/2 (第2四半期)	2022/2 (期末)	2023/2 (第2四半期)	2023/2 (期末)	2024/2 (第2四半期)
売上高 (単位:百万円)	33,582	65,849	34,650	66,266	33,009	65,695	33,665
営業利益 (単位:百万円)	△6,663	△12,205	△2,906	△6,648	△1,988	△4,804	△490
経常利益 (単位:百万円)	△6,664	△12,218	△2,952	△6,802	△2,088	△5,004	△615
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (単位:百万円)	△6,861	△12,716	△3,127	△7,142	△2,136	△5,523	△800
1株当たり 四半期(当期)純利益 (単位:円)	△161.29	△298.90	△73.51	△167.87	△50.21	△129.81	△18.81
1株当たり 純資産額(BPS) (単位:円)	246.01	102.93	29.99	△64.25	△113.80	△191.67	△210.14
総資産 (単位:百万円)	45,272	44,006	42,046	43,318	37,659	40,250	35,122
純資産 (単位:百万円)	10,482	4,393	1,290	2,281	173	△3,152	△3,938

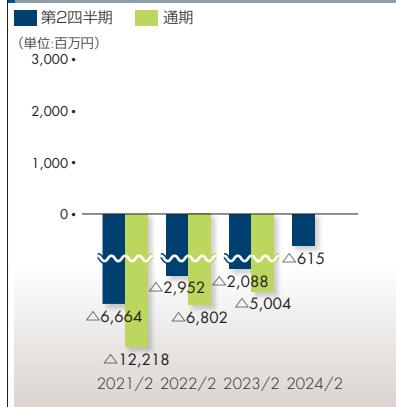
売上高



営業利益



経常利益





代表取締役

木下尚久

当第2四半期連結累計期間（2023年3月1日～2023年8月31日）における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類へ見直されたことに伴う経済活動の正常化が、個人消費やインバウンド消費の回復を支え、緩やかな回復基調で推移する一方、為替相場の変動や原油高、原材料高を受けて長引く、食料品・日用品・光熱費の値上げ影響による景気下押し圧力が懸念される等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループにおいては、新型コロナウイルス感染症の影響により毀損した自己資本の増強と安定した財務基盤による経営基盤の再構築を実現させるべく、4カ年（2023年2月期～2026年2月期）の事業再生に取り組んでおります。初年度となる前連結会計年度で、不採算店舗の整理、持越し在庫の削減に一定の目途が付き、今後のアスピーブランド統一による経営資源の集中で、収益改善を見込める体制を整えることができました。

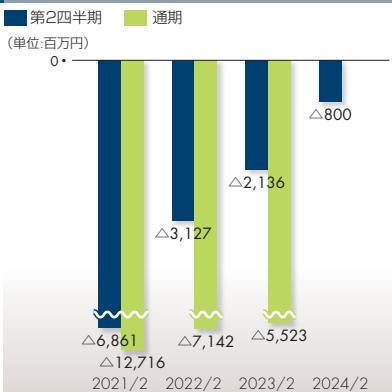
そのような状況の中、当第2四半期連結累計期間における売

上高は、お客さまニーズや販売動向に基づいて再構築を行った品揃えの重点カテゴリとなるスポーツシューズ(スニーカー)が、外出行動の増加による旅行・レジャー需要等の後押しを受けて好調な実績だったこと、また、記録的な猛暑で夏シーズン商品の販売が好調だったこと等により売上高336億65百万円(前年同期比2.0%増、既存店前年同期比7.8%増)の実績となりました。売上総利益高は、第1四半期連結累計期間から引き続き、地域のお客さま情報、販売動向に基づいたスポーツ&キッズシューズ中心の品揃えへの再構築が進んだことに加え、持越し在庫への値下げ販売が減少したことにより、売上総利益率が前年同期から1.7ポイント改善(売上総利益率実績43.9%)、売上総利益高147億72百万円(前年同期比5.9%増)の実績となりました。販売費及び一般管理費は、営業継続店舗の賃料減額や間接部門のコスト削減に取り組み、前年同期から6億68百万円減少の152億63百万円(前年同期比4.2%減)の実績となりました。

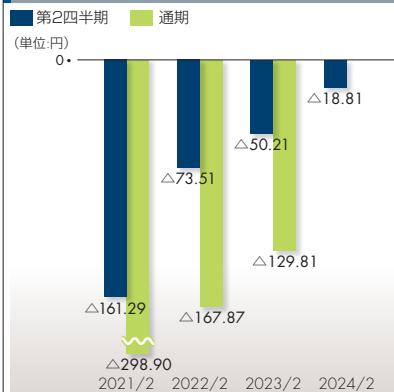
また、当第2四半期連結累計期間末における当社グループの店舗数は、8店舗の出店と40店舗の退店を行い679店舗(当社単体では672店舗)となりました。なお、利益店舗への経営資源集中による事業効率、販売効率の最大化を目指すアスピーブランド統一は、当第2四半期連結累計期間に28店舗の改装を実施いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績については、営業損失4億90百万円(前年同期は営業損失19億88百万円)、経常損失6億15百万円(前年同期は経常損失20億88百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は8億円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失21億36百万円)となりました。

親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



1株当たり四半期(当期)純利益



1株当たり純資産額(BPS)





ASBee アスビーブランド統一

お客さまが求める商品、お客さまに寄り添った接客・サービスで「またあのお店に行きたい、またあの人から靴を買いたい」とお客さまから信頼していただける店舗づくりをテーマに2023年2月期よりスタートしたアスビーブランド統一は、2024年2月期中間決算時点で計63店舗がオープンいたしました。店構えだけでなく、品揃え、接客サービスも進化した新しいアスビーが続々とオープンし、地域のお客さまにお喜びいただいております。

ニーズに合わせた品揃え



地域のお客さま情報に基づいた、スポーツ・キッズシューズ主体の品揃えでお客さまが本当に求める商品を取り扱います。総アイテム数を絞ることで店内はより見やすく、選びやすい売場になりました。

お客さまに寄り添った接客



アスビーブランド統一に伴い、全スタッフを対象に接客対応の基礎知識やフィッティング、商品知識の教育を実施。「またあの人から買いたい」と思っていただけけるスタッフの育成に努めています。

当社ならではのサービス



足型計測器でお客さまの足のサイズ、状態をお調べし、ぴったりの一足をお探しします。また、はっ水加工機「インボックス」でのはっ水加工をお勧めし、水や汚れからお客さまの大切な靴を守ります。

■ プライベートブランドのご紹介

「ATHREAM」 アスリーム



幅広設計、防水・耐水機能など充実の機能と履き心地を追求する「ATHREAM」。多様化するファッションに対応するデザイン、魅力的なブライス設定でハイパフォーマンスな商品を提案。

「heal me」 ヒールミー



ちょうど良いが心地良い。歩きやすさ、履き心地にこだわりながら、デザインにも気を抜かない。ポジティブに現代を生きる女性を足元からサポートするシューズコレクション。

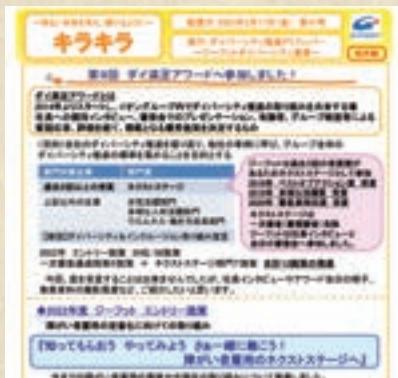
「MADFOOT!」 マッドフット



お子さまの健やかな成長を支えるキッズシューズ「MADFOOT!」。抗菌インソールや防水機能、幅広設計など、それぞれのお子さまに必要な機能を備えた商品を多数ラインナップ。

■ 新しい取り組みのご紹介

ダイバーシティ通信「キラキラ」



従業員が有する多様なスキルや能力を最大限活かせる職場環境の整備や教育等の取り組みを進めております。それら取り組み内容と、実際に働く様々な立場の従業員の声を、ダイバーシティ通信として配信しています。

アスビー公式インスタグラム



アスビー公式インスタグラム(@asbee_official)では、新商品や季節のイベント等へのお勧め商品のご紹介だけでなく、正しいサイズの選び方や靴を長く大切に履いていただくためのお手入れポイント等もご紹介しています。

ライブショッピング



商品の新しい提案方法として、ライブショッピングをスタートいたしました。視聴者のコメントに合わせて紹介する商品を決める等、視聴者参加型のライブ配信で、楽しく商品をご紹介します。

■ 四半期連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

科目	第53期 2023年8月31日現在
資産の部	
流動資産	30,509
固定資産	4,613
有形固定資産	887
無形固定資産	402
投資その他の資産	3,322
資産合計	35,122
負債の部	
流動負債	36,803
固定負債	2,258
負債合計	39,061
純資産の部	
株主資本	△ 3,902
資本金	3,761
資本剰余金	8,592
利益剰余金	△ 16,252
自己株式	△ 4
その他の包括利益累計額	△ 40
新株予約権	5
純資産合計	△ 3,938
負債純資産合計	35,122

■ 四半期連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	第53期 2023年3月1日から 2023年8月31日まで
売上高	33,665
売上原価	18,893
売上総利益	14,772
販売費及び一般管理費	15,263
営業損失	△ 490
営業外収益	3
営業外費用	127
経常損失	△ 615
特別利益	0
特別損失	72
税金等調整前四半期純損失	△ 686
法人税等	113
四半期純損失	△ 800
親会社株主に帰属する四半期純損失	△ 800

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	第53期 2023年3月1日から 2023年8月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,441
投資活動によるキャッシュ・フロー	297
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,278
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 5,423
現金及び現金同等物の期首残高	6,115
現金及び現金同等物の四半期末残高	692

■ 会社概要

商号 株式会社ジーフット
 (英訳名 GFOOT CO.,LTD.)
設立 1971年10月
資本金 37億61百万円
従業員数 937名 (他、フレックス社員3,014名)
本社 東京都中央区新川一丁目23番5号
事業内容 紳士靴、婦人靴、スポーツ靴及びインポート雑貨の販売
店舗数 679店舗

■ 役員

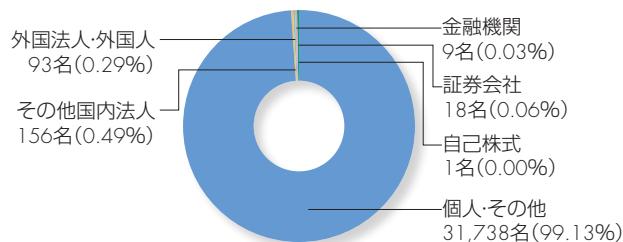
代表取締役	木	下	尚	久
取締役	井	上	紀	一
取締役	三	浦	隆	司
取締役 (社外)	柴	田	昭	久
取締役 (社外)	荒	川	正	子
常勤監査役 (社外)	笠	島	和	滋
監査役 (社外)	下	山		宏
監査役 (社外)	越	山	滋	雄
監査役 (社外)	石	津		卓

■ 株式の状況

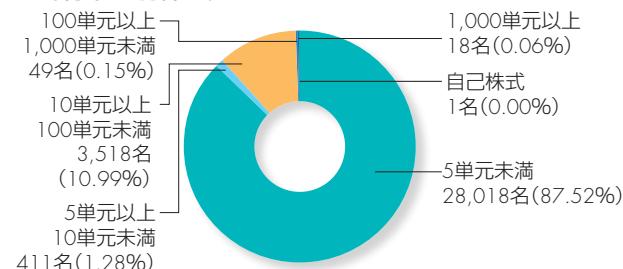
- 発行可能株式総数 144,000,000 株
- 発行済株式の総数 42,572,700 株
- 単元株式数 100 株
- 株主数 32,015 名
- 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数 (千株)	持株比率 (%)
イオン株式会社	26,350	61.9
有限会社高田	900	2.11
イオンフィナンシャルサービス株式会社	670	1.57

● 所有者別株主数



● 所有単元別株主数





株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで	
定時株主総会	毎年5月	
基準日	定時株主総会の議決権	2月末日
	期末配当金	2月末日
	中間配当金	8月31日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部	
各種お問い合わせ先 郵便物送付先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 フリーダイヤル 0120-782-031 (代表)	
公告方法	電子公告 ただし電子公告による公告ができない場合は、 日本経済新聞に掲載します。 (アドレス) https:// www.g-foot.co.jp/ja/announce.html	
上場金融商品取引所	東京証券取引所スタンダード市場及び 名古屋証券取引所プレミア市場	
単元株式数	100株	

株主優待制度のお知らせ

毎年2月末日及び8月31日現在の株主名簿に登録された100株以上所有の株主さまに対し株主優待券を贈呈。

所有株式数	優待内容
100株以上 1,000株未満	株主優待券1,000円 (1,000円券1枚)
1,000株以上 2,000株未満	株主優待券5,000円 (1,000円券5枚)
2,000株以上	株主優待券10,000円 (1,000円券10枚)



イオンラウンジ会員証について

毎年2月末日の株主名簿に登録された1,000株以上所有の株主さまに対しイオンラウンジ会員証を贈呈。詳細はイオンラウンジホームページをご確認ください。

<https://www.aeon.com/aeonapp/service/lounge>

■イオンラウンジ会員証に関するお問い合わせ先
ジーフットIR担当 03-5566-8215
(受付時間：10時～16時 土日祝日は除く)

ホームページもご覧ください

<https://www.g-foot.co.jp/>



本社 東京都中央区新川一丁目23番5号

